

18世紀ヴェネツィア絵画に描かれた景観構成要素とその連続性に関する研究

遅 傑萌

1. はじめに

1. 1. 研究の背景

ヴェネツィア社会は、十七世紀末から十八世紀においていくつかの顕著な特徴を示していた。貴族層は、十三世紀以来ずっと政治的役職を完全に独占し続けていた。莫大な金銭によって称号や官職を買った新興貴族は、自らのパラッツォやヴィラを飾り立て、衰微した名門貴族に代わって文化のパトロンとして台頭した。こうして、新興貴族や教団による一種の建設ラッシュが起こり、文化への投資も盛んになった。

ヴェネツィアに絵になる風景が多いことに加えて、こうした絵画の主たる受容者であったグランド・ツアーの旅人たちにとって、この水上都市は文化的に見過すことのできない滞在地であり、画布の上に永遠にとどめられた思い出を母国に持ち帰りたいという望みにもっと答え得るものであった。だからこそ、ヴェネツィア美術もまた、18世紀を通じてヨーロッパで高い評価を維持していた。特に「ヴェドゥータ」を言われる都市景観画の重要な中心地として活況を呈した。しかも、絵画は、同一の素材を対象にしても画家個人によって描かれたものは、同一ではない。本研究では、画風の違いは関係なく、カナレット、ベッロツトとグランディ三つの代表画家の視点から都市景観の特性を分析し、さらに「形式美」の美学理念から画面構成と構成要素の関係を論じて、絵画を読み解こうというのが本研究の目的である。

1. 2. 既往研究

ヴェネツィアにおける絵になる景観について論じる既往研究としては、ヴェネツィアの歴史と地理の情報から計量的に都市構造を考察を行う。また、描いた絵画に基づいて、ほとんど同じの実景を系統的に分析して、都市景観の評価及び景観表現技法の分析を行った。本研究では、既往研究の分析結果により、描かれた内容をより重視し、美学の観点からさらに絵画作品を分析する。

1. 3. 研究方法

分析対象の絵画は、アテナアートデータベース^{注1)}に掲載されているものの中からヴェネツィア本島内の

景観を描いた絵画とした。また、カナレットのカプリッチョ（奇想画）は調査分析の対象から排除した。絵画作品はカナレット55点、ベロツト17点、グアルディ24点を抽出して、合計96点である。画像意味分割（FCN）を用いて、画面内にある要素毎に色分けて、絵画個々にある150個の指標と各構成要素の面積比率を算定する、分析を行う。

2. 景観構成要素の抽出

2. 1. 対象絵画の概要

対象絵画は、広場、大運河及びサン・マルコ湾、ジュデッカ運河に隣接するところを描いたものである。

ヴェネツィアは十八世紀絵画で唯一の流派を作ったといわれる。都市風景画は、「風景画主義」とも呼ばれ、18世紀のヴェネツィアの文明の絶頂期で本格的な画派に発展した。カナレット、ベッロツト、グアルディはベネチア画派の始まりと終わりを表していると言える。カナレットは再現性の高い圧倒的な写実性と精密かつ大規模の都市眺望の景観画を得意とした。彼は建築や広場や運河を正確に捉えるだけでなく、そこうつろう光と影を写し取り、生氣あふれる都市空間を表現した。ベッロツトはカナレットの甥にあたる、叔父の影響を強く受けた、リアリズム的な画風を尊ぶよりも、建築や自然景観の入念な描き方にも重きを置いていた。グアルディの画風はより印象派に偏っているが、画面内の建築要素が圧縮されたようで、ほとんど空と海の単純な境界になり、キャラクターと船は簡単なストロークで描かれたが、都市景観の絵画様式はカナレットによく似ている。

2. 2. 景観要素の抽出

抽出された絵画作品の集計結果をもとに、ピクセル単位でクラス分類を行って、画像を決められた数の色で各要素を表示したところ、150個ベースのうち38個の構成要素を抽出し、さらに8種類に分類した。①空: sky、②建物: building, fence, rock, column, railing, bridge, tower, clock, house, bannister, sculpture である。含まれる要素は主に建物の一部であり、教会には様々な建築様式があり、それらのほとんどには鐘楼が備えているため、これらの要素は一つのカテゴリーに

分類される。③河川：water, sea, river, fountain、絵画における水面の色に対する芸術的な処理により、同じ水系元素は色の濃淡によって異なるラベルとして表示されるため、河川の要素として統一される。④歩行空間：floor, road, earth, path, stairs, stairway, bench, chair, tent/shelter、歩行空間には広場、運河沿いの通り、その他の陸上活動スペースが含まれる。⑤キャラクター：person, animal、画面では人物や動物を細かく描写しているにより、キャラクター別に分類される。⑥船：boat, ship, pole, machine, wheel、ゴンドラと貨物船を指す。他の三つは船の構成部分と貨物である。⑦棧橋^{注2)}：pier、大運河に沿って大規模邸宅の水上玄関の前、広場や広幅員の街路上に存在し、帯的に連続する船着場である。⑧その他：grass, tree, mountain, plant, streetlamp, bag, flowerpot, wastebin, flag、絵画には緑化の描写はなく、建築バルコニーにある植物といくつかの邸宅に掛けられている旗だけが識別できる。出現頻度が極めて小さいため、そのすべてを「その他」に区分される。

2.3. 視対象と視点場の特徴

各サンプルの視点場の分布、視線方向および主な視対象を調査した結果は図1に示す。抽出された視点場は50ヶ所である。視点場の空間特性を以下の二点を挙げられた。一つ目はオープンスペースであって見通

しが利く場所である。二つ目は誰でもアクセスできる場所である。また、対象絵画が平行景と俯瞰景に分類される(表1)。平行景の場合は、描かれた水平線とほぼ統一平面の地上に、また船に乗ってみるアイレベルの景観である。俯瞰景の場合は、視点場は地上より高い位置から見る景観である。

表1 各景観シーンによる平行景と俯瞰景の枚数

	平行景	俯瞰景
広場の景観	17	3
河川とまちなみの景観	39	7
港湾の景観	16	1
祝祭の景観	9	4

3. 各景観シーンによる景観要素と空間分布

3.1. 広场景観

この景観に当てはまる絵画が20点を抽出され、広場に面している、建築物の方を強調した構図である。主な視対象は、シンボリック教会や公共建築物であり、その中でサン・マルコ広場(9)、カンポ・サン・ジャコモ・ディ・リアルト(3)、カンポ・サン・スティン(1)、カンポ・サンタ・マリア・フォルモザ(1)、カンポ・サン・ロッコ(1)、カンポ・サンタンツォロ(1)、カンポ・サン・ザッカリーア(1)、カンポ・ディ・アルセナーレ(1)、コルテ(1)を描いている。

近景で共に広場や人々の活動が描かれている、中景と遠景では主に広場に面した教会、聖堂等が描かれている。

図1 視点場、視線方向、主な視対象



- | | | | | |
|-------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| 01. スカルツィ教会 | 12. サンジャコモディリアルト教会 | 23. フォスカリ邸 | 34. 新行政長官府 | 45. サン・マルコ同信會館 |
| 02. サン・ジェレミア教会 | 13. カンポ・サン・スティン | 24. カ・レッツォーニコ | 35. 旧行政館 | 46. サンラツァーロデイメンディカンティ |
| 03. サン・シメオンピッコロ教会 | 14. サン・ロッコ教会 | 25. コンタリーニ宮殿 | 36. サン・マルコ鐘樓 | 47. 造船所 |
| 04. サン・マルタオーラ教会 | 15. サン・ロッコ(大同信組合) | 26. モロリン宮殿 | 37. サン・マルコ聖堂 | 48. マッジョーレ教会 |
| 05. スカルツィ橋 | 16. ドイツ商人館 | 27. グラツィン館 | 38. 造船局 | 49. ジェスアーティ教会 |
| 06. カ・ドーロ | 17. サン・バルトロメオ教会 | 28. サンタンツォロ教会 | 39. ドウカレ宮殿 | 50. コーバドミニコ教会(現存していない) |
| 07. サグレド邸 | 18. リアルト橋 | 29. カンポ・サンタンツォロ | 40. 刑務所 | 51. 英国秘書官邸 |
| 08. マングリ・ヴァルナラマ邸 | 19. パラッツォベンボ | 30. コルネル宮 | 41. サン・ザッカリーア教会 | |
| 09. サン・スタエ教会 | 20. パラッツォコーナースピネッリ | 31. グリディ邸 | 42. サンタ・マリア・フォルモザ教会 | |
| 10. 魚市場 | 21. パラッツォピサニモレッタ | 32. サンタ・マリア・デッラ・サルテ聖堂 | 43. サンタマリア・デイ・ミラーコリ教会 | |
| 11. カンポ・サンタ・ソフィーア | 22. パラッツォバルビ | 33. ジェスアーティ教会 | 44. エ・パオロ聖堂 | |

3.2. 河川とまちなみ景観

この景観タイプに当てはまる絵画は46点である。視点場は図1に示すように、コード43、44、45、46、47の場合を除き、大運河に面する街路や広場が視点場となっている。主な視対象は、大運河とそれに面する貴族宅邸、聖堂、街路による構図である。その中でリアルト橋(9)、サンタ・マリア・デッラ・サルゥテ聖堂(10)の描画頻度が比較的に高いである。

大運河を画面中央に配置されており、近景から遠景に伸びていく。運河の両側は、大規模邸宅、棧橋と川沿い歩道空間があり、アイストップとして運河の曲がり角部分を選定される。中景または遠景では、教会や高い建築物の屋根が見える。

3.3. 港湾景観

このタイプの景観に当てはまる絵画は17点がある。視点場は港湾沿いのサン・マルコ湾(14点)であり、視点場は大運河の入り口に浮かぶ船の上である。違う方向からサン・マルコ小広場を眺望する景観を描きました。

ジュデッカ運河(3点)であり。見える範囲は他の景観シーンに比べて大きいである。視点場は船上で運河の入り口方向、北東方向を見て、視対象は近景と中景要素としての視点場近傍の建築物、海、船舶、遠景要素としての対岸の広場、教会や鐘楼等である。

3.4. 祝祭景観

イタリアのルネサンス期には、ヴェネツィア都市にとって祝祭の景観空間が不可欠である。サンプルの中には主に3つの祝祭シーンを描いている。

(1)「キリスト昇天祭におけるブチントーロの帰還」(図2)：サン・マルコ湾の船から、サンマルコ広場及び周辺建築群、ブチントーロ^{注3)} 帰りの様子を眺める絵画である。その中の9枚にはサン・マルコ小広場前を中心にそれぞれの視点から、お祭りの壮観さを描かれている。

(2)「大運河でのレガッタ」(図3)：このシリーズ作品には、大運河で行われるレガッタの一環として開催されるゴンドラの競漕が描かれている。画面の左端には「マッキナ」と呼ばれる仮設の建物は試合の展望台または優勝者の表彰台である。観客たちは大運河の両



図2 キリスト昇天祭

図3 大運河のレガッタ

岸に並んだ船を埋め尽くし、また宮殿のバルコニーから競漕を見物している。(3)「サン・ロッコ聖堂とサン・ロッコ同信会館を訪れるヴェネツィア統領」



図4 聖ロクス祭日

(図4)：サン・ロッコ同信会館は構図の中心を占める。近景は聖ロクス祭日に参加するの高官たちである。

4. 「絵になる」景観を美学に関する考察

十三世紀ヨーロッパの代表的なキリスト教神学者であるトマス・アクィナスは、美しさの三つの要素は「完整性」、「調和」、「明るさ」を提唱した、これは美的概念の源泉であると言える。また18世紀以降、バロック芸術に加え、ルネサンスや啓蒙主義の影響を受けて、美学の思想はもっと合理主義あるいは理性の方向へ傾き、美しさの三要素は「完整性」、「比例」、「色彩」としてあらためて提唱されていた。本章では美学の技法という切り口での各景観シーンによる構図の美しさだけでなく、構成する要素間の画面比例と連続性を考察して、ヴェネツィア絵画の「絵になる」景観を評価する。

4.1. 完整性

完整性は、風景の統一として定義されている。写真のさまざまな構成要素とテーマの間の統一また各景観要素の連続性である。

16世紀から19世紀初頭にかけては、イタリアで透視図法による都市の眺めの美しさを生み出す様々な手法や実践が展開する。ここでは、黄金比の対角線を通して、風景の連続性が見られます。Adolf Zeising アドルフ・ツァイシングは、黄金比は自然と芸術の美しさと完整性を説明する普遍的な法則であると信じています... 黄金比はいたるところにあり、すべての構造、形、比率、宇宙または個人が一致させることができるという評価がある。

画面に黄金比に分割した水平線を引く、おおむね6:4の割合の補助線である、それを画面の構図とバランスを決めた。ここでは各景観シーンの特徴を平行景と俯瞰景を分析する。①広場景観の場合では(図5、6)、A部分の画面比重が大きく、画面構成要素がより単一である。B部分の画面比重は小さいが、景観構成要素の種類が多く、また黄金螺旋の中心は広場の隈部また広場に入ってくる道路上にあり、加えて遠景では教会の尖塔が見えて、奥行き感を強調されていると言える。俯瞰景では数多くの作品はサン・マルコ広場空間を描かれた。基本的には対称的な構図になっており、左と

右の建物の透視消失点は異なっているが、二点とも同じ水平線にある。その消失点は画面の中心にあるサン・マルコ聖堂に配置されていることで、主要な視対象であるサン・マルコ聖堂がさらに強調されることになった。②河川とまちなみ景観の場合で(図7、8)、平行景の視点場は船の上から、左から右への建築物に透視線を引いて、透視消失点は01から03へ河川沿いに移動する。河川の連続性と奥行き感を浮き彫り、空間遠近感に加えて人々の視線をある程度導いた。俯瞰景では視野範囲が遠くて、全体像を把握するという構図である。③港湾景観の場合では(図9、10)、同両側建物の透視消失点の移動は同じ中心に向かう傾向がある。画面で見えないけど、地理的な位置ではちょうどS型運河の曲がり角に位置しており、景観の奥行き感強調されるだけではなく、画面上に描かれていない

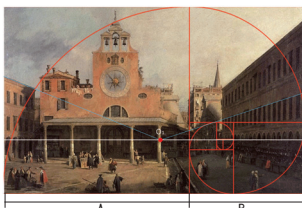


図5 広場景観平視景

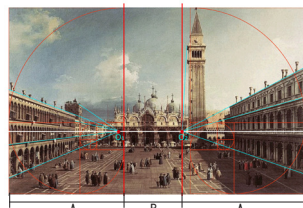


図6 広場景観俯瞰景

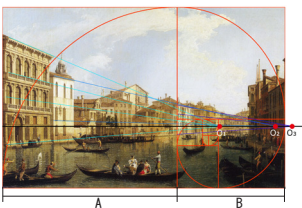


図7 河川景観平視景

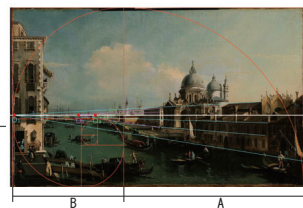


図8 河川景観俯瞰景

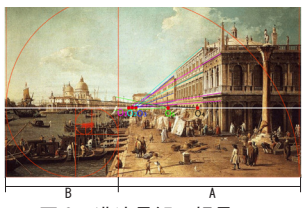


図9 港湾景観平視景

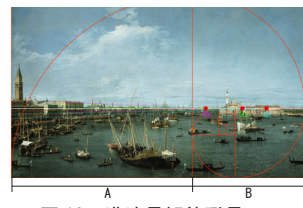


図10 港湾景観俯瞰景

景観も感じさせられる。俯瞰景はほぼ一致していますが、視野範囲がもっと広くなり、パノラマ効果はより明確である。

4-2 比例

異なる景観タイプの各景観構成要素の面積比(表2)の結果により、25×40で画像を分割した。各メッシュ表2 景観グループごとの基本的景観構成要素の面積比の平均値(%)

基本的景観構成要素	広場景観			河川とまちなみ景観			港湾景観		
	近景	中景	遠景	近景	中景	遠景	近景	中景	遠景
建築	25.2	13.9	5.4	21.9	6.9	1.1	3.6	5.3	3.7
歩行空間	13.4	1.4	0.3	2.8	0.1	-	2.3	0.1	-
キャラクター	2.6	0.3	-	0.5	-	-	0.9	-	-
河川	-	-	-	13.1	0.9	0.1	17.1	4.9	1.1
棧橋	-	-	-	1.0	0.3	0.1	0.1	0.5	0.6
船	-	-	-	4.6	0.3	-	4.1	1.3	0.4
空	-	37.3	-	-	46.2	-	-	54.0	-
その他	0.1	-	-	0.1	-	-	0.1	-	0.1

注) 景観構成要素の「河川」、「棧橋」と「船」は、広場景観に存在しなかった。

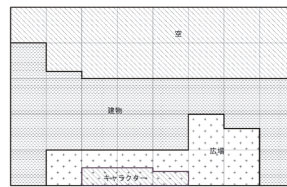


図11 「広場景観」の典型例

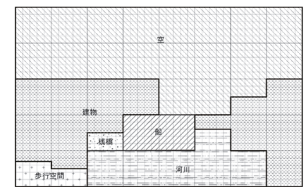


図12 「河川景観」の典型例

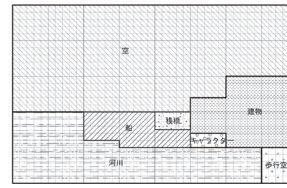


図13 「港湾景観」の典型例

に描かれた景観要素の集計によって、各景観の典型例を描かれた。①広場景観(図11)の中で建築は、広場空間、キャラクターである。景観構図は比較的単一である。②河川とまちなみ景観(図12)では主要構成要素は建物、河川と船である。また、建築近中遠景の比例によって、景観の連続と空間奥行き感を強く、各構成要素の分布がより分散している。③港湾の景観では(図13) 主要な景観構成要素は空、河川と船である。景観構成要素は画面の中段かつコンパクトである。

4-3 色彩

18世紀のヴェネツィア絵画は、精確な透視法を用いただけでなく、技法に豊かな色彩変化と景観の繊細さも特徴的である。光と影の階層的变化を運用することによって、画面全体にももの統一感があつて、また光の引き立てのもと、視覚的で主対象が強調され、ある程度人の視線を導く効果がある。

5. まとめ

本研究では、18世紀カナレット、ベッロットとグアルディの絵画作品を対象にして景観構成要素と画面構成の「形式美」から都市景観の特徴について考察を行った。その内容を以下にまとめる。

抽出された景観構成要素は各景観シーンの近中遠景の面積比によって、各景観グループの空間特性を明らかにした。また、ヴェネツィア景観では、描かれた建物の消失点は複数があり、また同一水平線に配置される傾向があることを明らかにした。複数の消失点とその移動パターンは相互に作用し、画面に奥行き感が付加される効果があることを明らかにした。

【補注】

- 註1) The Athenaeum art database、2002年5月にスタートし、25万いじょうの素晴らしいアートワークの画像を蓄積してきた。
 註2) 棧橋: ゴンドラが発着する所。
 註3) プチントーロ: 金色の儀式用ガレー船

【参考文献】

- 1) 萩島哲: 風景画と都市景観: 水・緑・道・まちなみ, 理工図書, 1996
- 2) 福田太郎, 萩島哲, 有馬隆文, 村上正浩: ヴェネツィアの「絵になる」都市景観構図及びその視点場の空間的特性, 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-1, 2002. 6
- 3) 萩島哲, 大貝彰, 金俊榮, 岩尾襄: 19世紀ヨーロッパ風景画にみる都市景観に関する研究, 日本建築学会計画系論文, No. 413, pp83-93, 1990
- 4) 福田太郎, 萩島哲, 有馬隆文「カナレットが描いた絵画に見るヴェネツィア都市景観の空間的特性」九州大学大学院人間環境学研究院紀要、第3号、2003. 1
- 5) W・H・マクニール: ヴェネツィア: 東西ヨーロッパのかなめ 1081-1797, 講談社学術文庫